

# ピックアップ! ふるさとと納税

## 概要版(全体版)

●ふるさと納税は、具体的には、どんな事業に活用されているのでしょうか?

ふるさと納税の用途をPRしながら、ふるさと納税を活用して地域の実情に応じた事業に積極的に取り組んでいる自治体が増えています。総務省では、そんな自治体の例をふるさと納税ポータルサイトにて紹介しています。

●「ピックアップ!ふるさと納税」では、自治体がふるさと納税を活用して実施した事業の生の情報を、現地からレポートしています。



- |       |      |        |       |
|-------|------|--------|-------|
| ①北海道  | 東川町  | ②⑦栃木県  | 小山市   |
| ②北海道  | 斜里町  | ②⑧埼玉県  | 飯能市   |
| ③青森県  | 弘前市  | ②⑨新潟県  | 津南町   |
| ④宮城県  | 南三陸町 | ②⑩山梨県  | 富士吉田市 |
| ⑤秋田県  | 能代市  | ②⑪京都府  | 亀岡市   |
| ⑥栃木県  | 足利市  | ②⑫和歌山県 | 橋本市   |
| ⑦東京都  | 墨田区  | ②⑬和歌山県 | 湯浅町   |
| ⑧新潟県  | 十日町市 | ②⑭山口県  | 美祢市   |
| ⑨岐阜県  | 美濃市  | ②⑮福岡県  | うきは市  |
| ⑩滋賀県  | 豊郷町  |        |       |
| ⑪京都府  | 舞鶴市  |        |       |
| ⑫和歌山県 | 田辺市  |        |       |
| ⑬島根県  | 松江市  |        |       |
| ⑭岡山県  | 笠岡市  |        |       |
| ⑮広島県  | 福山市  |        |       |
| ⑯山口県  | 周南市  |        |       |
| ⑰香川県  | 高松市  |        |       |
| ⑱高知県  | 仁淀川町 |        |       |
| ⑲長崎県  | 対馬市  |        |       |
| ⑳大分県  | 白杵市  |        |       |

# ふるさと納税を活用した事業について、 生の情報を現地からレポートしています。

北海道 東川町

## 大雪山の恵みの水を、未来の子供たちにも。



大雪山旭岳から湧き出る源水

北海道のほぼ中央、旭川の中心部から13kmの場所にある東川町は、大雪山(だいせつざん)国立公園のふもとに広がるまちです。大雪山連峰の最高峰・旭岳(あさひだけ)に降った雪や雨が長い年月をかけ大地にしみこんだ地下水を全戸で使用しており、道内で唯一、上水道のないまちとして知られています。恵まれた自然環境と旭川空港に近い利便性の高さ、そして「写真の町」を掲げての写真にまつわるイベントの開催で観光客を集めています。

### ●ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業

東川町では、ふるさと納税をした方々を株主とする「ひがしかわ株主制度」を導入し、株主の方々を招いての植樹体験の開催や、国際写真フェスティバルなどのイベントを行っています。

北海道 斜里町

## 原生の森の復元に、100年の計で挑む。



ふるさと納税を活用して森づくり作業が進む知床国立公園内の100平方メートル運動地

北海道の東部、オホーツク海に面した斜里町は、100kmを超える海岸線と雄大な知床連山を擁するまちです。ユネスコの世界自然遺産に登録されている知床半島でもよく知られています。知床半島の周辺海域は、北半球において流水が接岸する最南端。流水がもたらす生態系、そして海域と陸域が一体となった独特の環境のもと、多様な動植物が生息しています。斜里町ではこの貴重な自然を守るために、長年にわたり地道な活動を続けています。

### ●ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業

森林の再生、生物相の復元や散策路「森づくりの道」の整備など、「100平方メートル運動の森・トラスト」の様々な活動に活かされています。

青森県 弘前市

## 天守を動かす100年ぶりの石垣修理。



青森県の南西部に位置する弘前市は、城下町として繁栄した歴史を持つ、津軽地域の中心都市です。現在、まちのシンボルである弘前城では、約100年ぶりに天守を移動させての石垣修理が行われており、この平成の大修理にまつわる様々なイベントにより、まちも活気づいています。

### ●ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業

建物を解体せずに天守を動かす曳屋(ひきや)という工法を用い、崩壊の危険性がある弘前城の石垣修理を行っています。

宮城県 南三陸町

## おらほの町のために、つながる力を、みんなの力へ。



海の運動会など、おらほのまちづくり補助金を活用した取組

志津川町(しづがわちょう)と歌津町(うたつちょう)が合併して10年一宮城県の北東部に位置し、リアス式海岸の豊かな景色に恵まれた、南三陸町。平成23年3月11日、東日本大震災により甚大な被害を受けた町は、今も全力で復興に取り組んでいます。古より海や山とともに生き、人と人とのつながりの大切さを熟知した先人たちが、協働し継承してきたまちづくりの想いは、様々な事業の中に息づいています。

### ●ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業

「おらほのまちづくり支援事業補助金」を交付し、住民が組織する団体やボランティア団体などが主体的に行う事業や活動を応援しています。

秋田県 のしろし 能代市

強く美しい「風の松原(かぜのまつばら)」を次の世代へつなぐ。



秋田県の北西部に位置し、西は日本海に面する能代市。世界遺産白神山地(しらかみさんち)とそれに連なる山々に恵まれ、古くから木材の交易で栄えてきました。日本海側に南北総延長14km、東西幅1kmにわたって広がる日本最大規模の松林「風の松原」でも知られるまちです。自然環境との調和や伝統を大切にしながらも、まちを活性化する新たな取組にも力を注いでいます。

- ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業  
松くい虫被害の原因となる松の枯れ枝拾いや下草の刈取り、雑木除去など「風の松原」の保全活動などを行っています。

栃木県 あしかがし 足利市

まちづくりは、人づくりから。学びと育みが未来をつくる。



日本遺産である足利学校

東京から北へ約80kmにある栃木県足利市。古くから織物業で栄え、現在は総合的な商工業都市として発展しています。また、日本遺産の足利学校や、鏝阿寺(ばんなじ)をはじめとする足利氏ゆかりの社寺が点在し、豊かな歴史と文化が息づくまちでもあります。これら観光資源を活用して映画やドラマのロケ地誘致を行うなど、新たな魅力づくりにも力を注いでいます。

- ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業  
日本遺産である足利学校の茅葺き屋根の維持・管理や、全面的な葺き替えなど、足利学校の改修を行っています。

東京都 すみだく 墨田区

北斎の美術館を魅力あるまちづくりの拠点に。



東京都23区の東部に位置する墨田区は、西に隅田川、北から東には荒川が流れる川のまちです。江戸切子(えどきりこ)をはじめとする江戸時代からの職人文化が受け継がれており、ものづくりのまちとしても知られています。浮世絵師の葛飾北斎もこのまちで生まれ、生涯のほとんどを墨田区で過ごし、数多くの作品を残しました。北斎ゆかりの地である墨田区にオープン予定の「すみだ 北斎美術館」完成に向けて、まちは活気づいています。

- ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業  
郷土の誇りである北斎の功績を永く伝えると共に、地域活性化の拠点として「すみだ 北斎美術館」の建設などを行っています。

新潟県 とおかまちし 十日町市

里山と雪を観光資源に、まちを元気に。



新潟県の南部、長野県との県境近くに位置する十日町市は、平成17年4月に5市町村が合併して誕生したまちです。市の中央部を流れる信濃川(しなのがわ)の流域には棚田が広がり、新潟県を代表する米どころとして知られています。また、冬は2メートル以上の積雪がある日本有数の豪雪地帯でもあります。こうした美しい里山の風景と雪を観光資源としてまちの魅力在全国に発信し、交流人口を増やす取組を積極的に行っています。

- ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業  
里山の各所に作品が展示されるというユニークな芸術祭「大地の芸術祭越後妻有(えちごつまり)アート トリエンナーレ」の開催や作品管理を行っています。

# ふるさと納税を活用した事業について、 生の情報を現地からレポートしています。

岐阜県 みのし  
美濃市

## 町並みや伝統文化を、次世代へ伝えたい。



1300年続く伝統技術から生まれてくる手すきの本美濃紙

岐阜県のほぼ中央に位置する美濃市は、長良川(ながらがわ)をはじめとした美しい自然に恵まれたまちです。江戸時代からの建造物が軒を連ねる「うだつの上がる町並み」や重要無形文化財の本美濃紙(ほんみのし)でも知られています。平成26年に本美濃紙の手漉和紙技術がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを受け、平成27年度から新たに「本美濃紙後継者育成のための事業」に取り組むこととしています。

- ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業  
本美濃紙の手漉和紙技術を将来にも伝えるため、本美濃紙後継者育成や次の世代の担い手たちが一本立ちするための支援を行っています。

滋賀県 とよさとちやう  
豊郷町

## 児童の成長を育んだ校舎を守り続ける。



滋賀県東部に位置する豊郷町は、東西約5.7キロメートル、南北約4.9キロメートルの県下で最も小さなまちです。明治時代以降は日本経済の近代化に貢献した実業家たちを輩出しており、その実業家の一人が私財を投じて建設した「豊郷小学校旧校舎群」。美しく機能的な校舎であることから、長くまちのシンボルとして愛されてきました。現在は学び舎としての役目を終え、地域の文化・教育・福祉・観光の拠点として活用されています。

- ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業  
外壁の塗り替えや教室の様子を復元するなど、国の登録有形文化財に登録されている豊郷小学校旧校舎群の保存整備を行っています。

京都府 まいづるし  
舞鶴市

## 平和への願いをこめて、史実を語り継ぐ。



京都府の北東部を占める舞鶴市は、美しいリアス式海岸と波の静かな港を持つまちです。昭和20年代後半以後は、第二次世界大戦中に海外に残された日本人の方々を日本に戻す、引き揚げを担った港のあるまちとして知られるようになり、現在も引き揚げに関する資料を収蔵・展示する「舞鶴引揚げ記念館」を拠点に、平和の尊さを伝えています。

- ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業  
海外引揚げの歴史を語り継ぎ平和の尊さを発信するため、収蔵資料の一部がユネスコ世界記憶遺産に登録された舞鶴引揚げ記念館の整備を行っています。

和歌山県 たなべし  
田辺市

## “世界遺産のまち”の認知を高め、交流を図る。



和歌山県中南部に位置する田辺市は、平成17年に5市町村が合併して誕生したまちです。日本有数の多雨地帯として知られる紀伊山地など、豊かな自然に恵まれ、世界遺産に登録されている「熊野古道(くまのこうどう)」があることでも知られています。こうしたまちの特長を広くアピールして交流人口を増やそうと、スペインの「サンティアゴ・デ・コンポステーラ市」との観光交流協定の締結をはじめとした、新たな事業を開始しました。

- ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業  
熊野古道の保全と「熊野古道ウォーク」を体験する「熊野古道環境保全ウォーク」を開催するなど、熊野古道をアピールすると共に道を保全する取組を行っています。

島根県 松江市

城下町の歴史・景観を市民と共に守る。



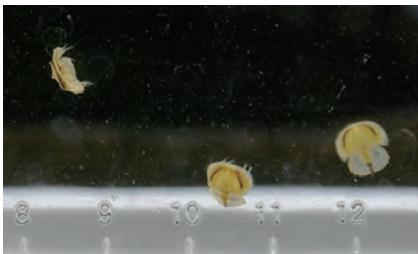
城下町・松江のシンボル松江城

島根県の東部に位置する松江市は、東に中海(なかうみ)、西には宍道湖(しんじこ)と2つの湖を擁する国際文化観光都市です。豊かな自然を背景に古代出雲の中心地として早くから開け、江戸時代には城下町としても栄えました。これら貴重な歴史を守ると同時に、観光資源を活かした新たな魅力づくりにも力を注いでいます。

●ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業  
まち歩きを楽しんでもらうための松江城周辺への観光案内板の設置や、歴史的景観を守り後世に伝えるための興雲閣(こううんかく)の保存などを行っています。

岡山県 笠岡市

瀬戸内の海の宝を守り、育てる。



カブトガニ博物館で人工飼育されているカブトガニの幼生  
(目盛りの単位:cm)

岡山県の西南部、瀬戸内海に面した港町、笠岡市。沖合には大小31の島からなる笠岡諸島があり、そのうち有人の7つの島では、各々が独自の文化や伝統を持っています。カブトガニの繁殖地としても知られ、カブトガニの保護や人工飼育に取り組むなど、瀬戸内の海の宝を大切に守り続けているまちです。

●ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業  
国の天然記念物に指定されているカブトガニの繁殖地の環境保全や、環境教育、古代生物についての展示などを行っています。

広島県 福山市

花や文化を愛する心を、まちづくりの礎に。



広島県の東南端、瀬戸内海のほぼ中央に位置する福山市。江戸時代は城下町として栄え、とりわけ沼隈(ぬまくま)半島の先端にある鞆の浦(ともうら)は、瀬戸内の主要な港として多くの人やものが行き交いました。現在は、まちの各所にばらが咲き誇る「ばらのまち」として知られています。市制施行100周年を迎える平成28年に「100万本のばらのまち」を実現しようと、まちが一丸となり、家庭や地域でばらを育てています。

●ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業  
ばらの咲き誇るまちの実現を目指し、市民によるばら花壇の整備や、ばらのコンテストを中心とした「バラ祭」の開催などを行っています。

山口県 周南市

動物と共に生きる喜びを、子どもたちに。



山口県の東南部に位置する周南市は、平成15年に2市2町が合併して誕生しました。市の中心部には、56年にわたり市民に愛されている「周南市徳山動物園」があり、世代を超えて動物を愛する心が受け継がれているまちです。また、市の東部にある八代(やしほ)地区は、特別天然記念物「ナベヅル」の本州唯一の越冬地として知られ、地域住民が力を合わせてナベヅルと人の共存を目指した活動を続けています。

●ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業  
ゾウの繁殖を目指した、新たなゾウ舎建設などの環境整備や、特別天然記念物「ナベヅル」の保護のための、観察エリアへのフェンスの設置や天敵の監視などを行っています。

# ふるさと納税を活用した事業について、 生の情報を現地からレポートしています。

香川県 たかまつし  
高松市

## 文化芸術のもつ創造性を、まちづくりにもっと。



美しい数多くの島と波静かな瀬戸内海を臨む高松市。古くから交通の要衝であったことから、長い歴史の中で、先人たちは国内外の多くの人々と交流し、様々なエッセンスを柔軟に取り入れつつ、文化芸術を育んできました。高松市では、市民一人ひとりが主役となる文化芸術の振興に取り組むとともに、文化芸術を通じたまちづくりの推進に力を入れています。

### ●ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業

国の史跡に指定されている高松城趾(玉藻公園)を活かして、伝統工芸を集めたワークショップを行うほか、天守をバーチャルリアリティ技術によって復元するといった新たな試みも計画しています。

高知県 にょどがわちょう  
仁淀川町

## 仁淀川のあるべき姿を、再び取り戻すために。



高知県の北西部、清流 仁淀川の上流域に位置する仁淀川町。町内を流れる仁淀川は日本一の水質を誇り、仁淀川の目を見張るような青の様子は「仁淀ブルー」と呼ばれています。豊かな水系を臨む集落では、水の恵みを活かした茶業が営まれています。そして美しい水の故郷を親から子へ、バトンを手渡すように継承すべく環境保全活動にも取り組むまちです。

### ●ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業

日本一の水質を誇る仁淀川を残し、水の故郷を次世代につなぐために、川の清掃のほか、勉強会やシンポジウムなどを行っています。

長崎県 つしまし  
対馬市

## 野生生物と生きる国境の島、対馬。



展望台から望む雄大な風景

日本海の西に浮かぶ南北82km・東西18kmの細長い島であり、山林がその面積の89%を占める対馬市。島の地形は標高200m~300mの山々が海岸まで続き、原始林を抱く、勇壮な自然を目にすることができます。国の天然記念物のツシマヤマメコをはじめ、ここでしか見ることのできない動植物が多く生息しています。

### ●ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業

絶滅の危機にあるツシマヤマメコを保護するために、対馬本来の生態系を取り戻す取組を行う保護区の設定を行っています。

大分県 うすさし  
白杵市

## 世代を超えて支えあい、学びあい、地域をつなぐ。



白杵市内小学校農泊体験学習の受入家庭と関係者の皆さん

大分県の東海岸に位置する白杵市。豊かな自然と温暖な気候のもと農業や漁業が盛んで、江戸時代から続く醤油・味噌・酒の醸造業、造船業でも栄えています。また、国宝 白杵石仏をはじめとする文化遺産でも知られています。平成17年に白杵市と野津町(のつまち)が合併。以来「日本の心が育つまち」を目指して、市民と行政が力を合わせて多様な活動を展開しています。

### ●ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業

市内の小学生が、地元の農村家庭に滞在し、昔ながらの家族団らんや、体験農場での種まきや収穫体験から食育を学ぶ農泊体験学習を行っています。

おやまし  
栃木県 小山市

## 小山市のふるさと納税 ～あなたの想いを、小山市へ～



小山市には世界に誇る「宝」があります。特に、平成22年11月16日にユネスコ無形文化遺産に登録された「結城紬(ゆうきつむぎ)」、平成24年7月3日にラムサール条約湿地に登録された「渡良瀬遊水池(わたらせゆうすいち)」は、小山市が誇る貴重な財産であり、次の世代へ引き継いでいくため、「渡良瀬遊水池の賢明な活用」や「本場結城紬の復興振興」など様々な取組を行っています。

●ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業

本場結城紬の技術を習得して継承する「紬織士」を採用し、産地織元で研修・育成するとともに、「糸つむぎ講習会」の開催などを行っています。

※栃木県 小山市からの投稿記事です。

はんのうし  
埼玉県 飯能市

## 飯能市をあなたの「ふるさと」にしませんか。



入間川上流で見ることができる、蛍が舞飛ぶ様子

飯能市は、都心から電車で一時間ほどで辿り着く都会に最も近い里地里山の地方都市です。昔から林業が盛んで、森林と共に暮らす生活が残っています。人口約8万人、面積にして193.05km<sup>2</sup>と人口に対して広い面積の市です。76%が森林です。おのずと空気、水、日差しが違います。飯能市では、森林や森林の恵みを楽しむ生活を守っています。

●ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業

入間川が流れる吾妻峡(あづまきょう)の河原を歩く散歩みちの整備や、河川の清掃などを行っています。

※埼玉県 飯能市からの投稿記事です。

つなまち  
新潟県 津南町

## 皆さまからのご支援を、さまざまな町づくりに活かしていきます



津南町の春夏秋冬

津南町は、新潟県南部に位置し、日本一雄大な河岸段丘(かがんだんきゅう)上に田畑や森林が大きく広がり、信濃川が運ぶ心地よい風を浴びながらゆったりと流れる景色が、いつの時代も私たちの心を和ませてくれます。ときには厳しい豪雪の中で闘うこともありますが、わが町の先人たちは数千年の歴史のなかで文化を築き、農を営み続けてきました。

●ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業

この大地や自然とどのように付き合い接していくべきか、それを体感しながら学ぶ場「苗場山麓ジオパーク」の環境保全を行っています。

※新潟県 津南町からの投稿記事です。

ふじよしだ  
山梨県 富士吉田市

## 富士山の麓の織物と観光のまち ふじよしだ



富士吉田市は、富士山の北側、富士五湖地域の中東部に位置し、標高700～900メートルに市街地を形成する高原都市です。既に室町時代にはこの地域の産業であった織物は、明治以降、近代産業として脚光を浴びて以来、富士山の湧き水による先染め織物として市を代表する特産品となっております。富士吉田市では、富士山の恵みを守り、後世に残していくためのさまざまな取組を行っています。

●ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業

富士山安全指導センターや救護所の管理運営など、登山者の安心・安全登山のための環境整備を行っています。

※山梨県 富士吉田市からの投稿記事です。



2013年2月、セーフコミュニティの再認証を取得

古来、京の都に隣接する要衝の地として、歴史的にも文化的にも大きな役割を果たしてきた亀岡市は、豊かな自然環境と都市的な利便性が調和する住みよいまちです。2008年3月には日本で初めてWHOセーフコミュニティ協働センターが推奨する「セーフコミュニティ」の認証を取得するなど、「安全・安心こそ最大の福祉」を理念に、“日本一しあわせを実感できるまち”を目指しています。

●ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業  
安全への意識を高め、自らが危険を回避できる力を育めるよう、交通安全子ども自転車大会やいじめ防止フォーラムを開催しています。

※京都府 亀岡市からの投稿記事です。



橋本市は、和歌山県の東北端、大阪府・奈良県の県境に位置する人口約65,000人のまち。中世では、京から高野山に至る高野街道の宿場町として栄えました。江戸時代には船継問屋場として、また大和街道・高野街道を往復する伝馬所として、地方物産の集散地としてこの地方の中心地となりました。また、世界的数学者「岡潔」博士のふるさとでもあり、博士の偉業をこの地から発信し、未来に継承する事業を展開します。

●ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業  
岡潔博士の偉業や日本人の心の大切さを未来へ継承するため、記念館の整備や情報収集、展示などの顕彰事業を行います。

※和歌山県 橋本市からの投稿記事です。



湯浅町は和歌山県の中部西岸、有田みかんで有名な有田地方に位置し、人口約1万3千人、面積20.79km<sup>2</sup>、小売業・サービス業・農業・漁業が主な産業の小さな町です。歴史は古く、平安時代から熊野参詣の宿所や港町として発展してきました。湯浅町は、海、山、川があり自然豊かなまちですが、近い将来発生すると言われている東南海・南海トラフ巨大地震の際に津波が心配される地域であるため、安全安心のまちづくりに取り組んでいます。

●ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業  
避難誘導灯や災害用備蓄用品の整備、救急体制の強化といった安心安全のまちづくり推進事業を行っています。

※和歌山県 湯浅町からの投稿記事です。



山口県中央部にある美祢市は、日本最大のカルスト台地「秋吉台(あきよしだい)」と日本屈指の大鍾乳洞「秋芳洞(あきよしどう)」など豊かな観光資源に恵まれ、平成27年には美祢市全域が「Mine秋吉台ジオパーク」として日本ジオパークに認定されました。ふるさと納税を活用して、美祢市の将来の発展を目指し、美祢市の明るい未来を築くための原動力となる「ひとづくり」や住み良い環境のもととなる「美しい自然を守る」ことなどに取り組んでいます。

●ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業  
日本最大級のカルスト台地である秋吉台の安全点検や注意喚起看板の設置等、秋吉台を管理するための取組を行っています。

※山口県 美祢市からの投稿記事です。



うきは市は福岡県の南東部に位置し、大分県との県境にあります。市の南部には屏風を広げるように東西に連なる耳納連山(みのうれんざん)、山の麓には果樹園が広がり、北部には雄大に流れる筑後川(ちくごがわ)など、豊かな水と緑に恵まれたまちです。また、江戸時代、豊後海道(ぶんごかいどう)の宿場町として賑わい、農産物で財を成した豪商たちによって作られた白壁の街並みが軒を連ね、情緒あふれる風景が今も残ります。

●ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業  
うきは市の総面積の約半分を占める森林を保全するため、森林の下刈り・間伐などを行っています。

※福岡県 うきは市からの投稿記事です。

本リーフレットは「ピックアップ!ふるさと納税」の概要を紹介するものです。  
「ピックアップ!ふるさと納税」の各記事の全文は、総務省ふるさと納税ポータルサイトをご覧ください。  
[http://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/jichi\\_zeisei/czaisei/czaisei\\_seido/furusato/report/](http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_zeisei/czaisei/czaisei_seido/furusato/report/)

